

所 属	清流の国推進部清流の国づくり政策課		
係 名	地域振興係、企画調整係 多文化共生係	内線	2058、2054 2407

「清流の国ぎふ」の魅力発信の促進

- 1 事業費 390,000 (前年度 370,000)
【財源内訳】 【主な使途】
一般財源 390,000 補助金 390,000

2 背景・事業目的

「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」を契機に県全体で取り組んでいる「清流の国ぎふ」の魅力づくりを一層推進していく必要がある。

このため、ふるさとへの愛着や誇りの醸成、本県が誇る世界遺産等の地域資源や特性を活かしたまちづくり、人材の育成、多文化共生の推進など、市町村等が主体的に取り組む「清流の国ぎふ」づくりを支援する。

3 事業概要

(1) 岐阜県清流の国ぎふ推進補助金 (270,000 千円)

- 清流の国ぎふづくり推進事業 (200,000 千円)
「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」を契機とした「清流の国ぎふ」づくりを支援する。
うち2020プロジェクト推進事業 (うち100,000 千円)
スポーツ振興、観光振興、企業誘致など「清流の国ぎふ2020プロジェクト」推進に必要なハード整備を支援する。
- 地方創生モデル事業 (20,000 千円)
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき実施する、他の市町村の模範となる事業を支援する。
- 市町村振興事業 (50,000 千円)
独創的で他の市町村の模範となる先導的・個性的な地域づくりを支援する。

(2) 「世界に誇る遺産」保全・活用促進補助金 (100,000 千円)

本県が誇る遺産を軸とした、市町村が行う地域の魅力づくりや人材育成等の取組みを支援する。

新 (3) 多文化共生推進補助金 (20,000 千円)

外国人児童生徒の初期指導教室の整備など、市町村が多文化共生の推進に向けて行うハード整備を支援する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費
(目) (3) 地域振興対策費、(6) 国際化推進費	
(明細書事業名) ○地域活性化対策費、国際交流費	
	地域活性化推進費、多文化共生推進事業費

所 属	清流の国推進部清流の国づくり政策課		
係 名	移住定住係	内線	2056

県出身大学生等のUターン促進のための奨学金制度の拡充

1 事業費 76,217 (前年度 37,800)

【財源内訳】	【主な使途】
一般財源 33,017	貸付金 75,600
繰入金 43,200	その他 617

2 背景・事業目的

地方から大都市圏に若者が転出する傾向が続く中、本県でも進学する高校生の約8割が県外大学を選ぶなど、「清流の国ぎふ」の未来を支える人材が流出している。

このため、県外大学等に進学しながらも、将来的に岐阜県に戻って活躍する意欲がある方を支援するために設置した奨学金制度について、その制度を拡充し、更なるUターンの促進を図る。

3 事業概要

県出身大学生等への奨学金の貸与 (75,600 千円)

県外大学等に在学する者であって、卒業後、県内に居住し就業する場合に返還を全額免除する奨学金の貸与を実施する。

対象校種に新たに「専修学校 (専門課程に限る)」を加えるとともに、貸与人数を拡大する。

- ・ 貸与金額 月額3万円
- ・ 貸与人数 120人以内 (新規貸与者数)
- ・ 対象校種 大学
短期大学
高等専門学校 (4・5学年に限る)
専修学校 (専門課程に限る)

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (3) 地域振興対策費
(明細書事業名)	○ 地域活性化対策費	地域活性化推進費

所 属	清流の国推進部清流の国づくり政策課		
係 名	移住定住係	内線	2056

新 地域おこし協力隊員の定着に向けた支援

- 1 事業費 5,000 (前年度 0)
【財源内訳】 【主な使途】
一般財源 5,000 補助金 5,000

2 背景・事業目的

都市部から過疎地域等に移住して地域活性化に取り組む「地域おこし協力隊」は、平成21年の制度創設から8年が経過し、各地域で多くの効果的な取組みが展開されている。

県内においても過疎地域等の活性化に取り組む隊員数が年々増加している一方で、任期を終えた隊員の半数が活動市町村から転出しており、隊員の任期終了後の定住・定着が課題となっている。

このため、市町村への支援を通じて地域おこし協力隊の任期終了後の定住・定着を促進し、過疎地域等の持続・活性化と同地域への移住促進につなげる。

3 事業概要

地域おこし協力隊定住促進補助金 (5,000 千円)

地域おこし協力隊の任期終了後も、従前の活動地域と同一市町村内に定住する隊員に対し、定住・定着のために要する経費の支援を行う市町村に対して、その経費の一部を補助する。

- ・補助対象者 : 市町村
- ・補助率 : 1 / 2 以内

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (3) 地域振興対策費
(明細書事業名) ○過疎山村振興対策費	過疎山村振興対策費	

所 属	清流の国推進部清流の国づくり政策課		
係 名	移住定住係	内線	2056

三大都市圏における移住情報発信・相談機能の強化

1 事業費 75,654 (前年度 63,570)

【財源内訳】

【主な用途】

一般財源	75,643	委託料	57,662
諸収入	11	旅費	5,642

2 背景・事業目的

人口減少社会においても地域が活力を保ち続けるためには、「地域の将来を支える人と呼び込む」ことが重要であり、三大都市での移住交流拠点の開設や移住者に対する県や市町村の支援施策の充実を図ってきた。それに伴い本県への移住者は年々増加している。

更なる移住を促進するため、相談機能を強化し、移住定住サポーター（仮称）及び移住促進団体の活用等により移住希望者と地域をつなぐ機能を強化するとともに、移住定住ポータルサイトの開設など情報発信を強化する。

3 事業概要

(1) 移住定住プロジェクト推進費 (58,901 千円)

三大都市圏における移住交流拠点の拡充や、移住セミナーの実施等により「清流の国ぎふ」の暮らしの魅力を発信するとともに、移住定住サポーター（仮称）等の活用により「人が人と呼び込む」流れを創出する。

・三大都市圏における移住交流拠点の拡充

名古屋における休日相談の実施、大阪における個別移住相談会の増加等により移住希望者が相談しやすい体制を整備する。

新・移住定住サポーター（仮称）制度の導入

特定分野（産業等）に精通した移住実践者や地域住民を「移住定住サポーター（仮称）」として登録し、移住希望者のニーズに応じた相談を実施する。

新 (2) 移住促進団体活動推進事業 (9,000 千円)

地域の団体がその特色を活かした移住定住を促進する事業を支援する。

新 (3) 移住定住ポータルサイト制作・運用管理業務委託事業 (4,354 千円)

岐阜県の移住定住情報を集約したWebサイトを開設し、移住希望者が必要とする情報をわかりやすく、タイムリーに提供する。

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (3) 地域振興対策費 (明細書事業名) ○地域活性化対策費 地域活性化推進費

所 属	清流の国推進部地域スポーツ課		清流の国推進部競技スポーツ課			
係 名	施設管理係	内線	2945	アスリート発掘・育成係	電話	058-297-7003
	スポーツ交流係		2948			

御嶽濁河高地トレーニングセンターをはじめとした スポーツ施設の整備と合宿誘致の推進

1 事業費 1,611,394 (前年度 44,901)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫	16,416	委託料	81,403
県債	1,336,900	工事請負費	1,452,980
一般財源	258,078	備品購入費	33,160
		補助金	25,000

2 背景・事業目的

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツの振興を図るため、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアを含む県有スポーツ施設の整備を進めるとともに、国内外トップアスリート等の合宿誘致に取り組む。

3 事業概要

新 (1) 御嶽濁河高地トレーニングセンターの整備・運営 (110,848 千円)

御嶽濁河高地トレーニングセンターを設置し、指定管理者による運営、科学トレーニング機器の整備、設備の改修、宿泊棟増築に向けた基本設計を実施するとともに、日本オリンピック委員会に加盟する中央競技団体の強化指定選手のトレーニング環境の整備、強化活動、医科学サポートを実施する。

(2) 県有スポーツ施設の整備 (1,463,100 千円)

長良川野球場のトイレ等改修、クリスタルパーク恵那スケート場のフットサルコート補修、岐阜県グリーンスタジアムの空調設備更新等の整備を行う。

(3) ホストタウン構想の推進 (9,347 千円)

ホストタウン構想の相手国である英・仏・米国を飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア等に誘致し、スポーツ教室など地域住民との交流を展開する。

(4) スポーツコミッションによる地域の活性化 (28,099 千円)

全国大会等での強豪団体の合宿に対して助成し、県内スポーツ施設の合宿利用を促進するほか、障がい者スポーツ合宿を含めた誘致活動を実施する。

(款) 2 総務費 (明細書事業名)	(項) 2 企画開発費 ○スポーツ振興費 スポーツ交流推進費	(目) (4) スポーツ振興対策費 ○スポーツ施設費 スポーツ施設整備事業費 ほか
-----------------------	--------------------------------------	---

所 属	清流の国推進部競技スポーツ課		
係 名	競技スポーツ係	内線	2950
	アスリート発掘・育成係	電話	058-297-7003

2020年東京オリンピック等に向けた選手強化

1 事業費 439,817 (前年度 356,617)

【財源内訳】

【主な使途】

一般財源	419,960	委託料	213,318
繰入金	19,857	交付金	200,750

2 背景・事業目的

2016年リオデジャネイロオリンピックにおける本県ゆかりの選手19名の活躍に続き、2018年平昌冬季オリンピックへ5名、2020年東京オリンピックへ30名の清流アスリート輩出を目指し、選手の育成及び強化を行う。

3 事業概要

(1) オリンピックアスリートの強化支援 (44,118 千円)

オリンピック等で活躍が期待できるアスリートを拡充指定し、遠征や強化合宿等に係る経費、栄養補助食品等の購入に係る経費等を助成するとともに、女性アスリートの心身ケア等に対する医科学サポート体制を強化する。

また、国際大会等で活躍が期待されるジュニアアスリート（小、中、高校生）を新規指定し、科学トレーニングサポート等の支援を実施する。

(2) ジュニアアスリート発掘・育成事業費 (19,857 千円)

ジュニア世代の優秀な人材を発掘し、複数競技種目の体験や栄養学・スポーツ心理学のプログラムを実施するなど、一貫した育成・強化を実施する。

(3) 競技力向上対策費 (201,987 千円)

国体の上位入賞に向け、各競技団体が実施する強化合宿や指導者養成、ジュニア世代と国内トップ成年選手との合同練習会、中学校部活動等の個別指定により競技力向上を図る。

(4) 清流アスリート強化事業費 (173,855 千円)

県内トップレベルの選手やチーム等の大会遠征費等を助成するとともに、トップアスリートが所属する県内拠点クラブの運営を支援する。

(款) 2総務費	(項) 2企画開発費	(目) (4) スポーツ振興対策費
(明細書事業名) ○スポーツ振興費		
トップスポーツ推進費 ほか		

所 属	清流の国推進部競技スポーツ課		
係 名	障がい者スポーツ係	内線	2944
	アスリート発掘・育成係	電話	058-297-7003

2020年東京パラリンピック等に向けた 障がい者スポーツの競技力向上

1 事業費	29,663 (前年度 29,528)
	【財源内訳】 【主な使途】
	一般財源 29,663 交付金 16,040
	補助金 12,165

2 背景・事業目的

ぎふ清流大会の成功や2020年東京パラリンピックの開催決定を受け、障がい者スポーツへの関心や期待が高まる中、2020年東京パラリンピックにおいて、県ゆかりの選手10名の出場を目指し、有力な選手の競技力向上や県内障がい者スポーツの裾野拡大に取り組む。

3 事業概要

(1) パラリンピックを目指すアスリートの強化支援(17,498千円)

東京パラリンピック等で活躍が期待できる選手やチームを指定し、遠征、強化合宿、栄養補助食品購入等の経費に対し助成するとともに、動作分析やフィジカルトレーニングなどの科学サポートを実施する。

(2) 障がい者アスリート育成支援費補助金(12,165千円)

将来の有力選手育成のため、世界大会等に出場する選手の遠征費や競技用具購入等に係る経費に対し助成する。

また、県内競技団体等の設立や指導者育成など、環境整備にかかる経費に対し助成する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (4) スポーツ振興対策費
(明細書事業名) ○スポーツ振興費		
	障がい者スポーツ推進費	
(明細書事業名) ○スポーツ施設費		
	岐阜メモリアルセンター管理運営費	

所 属	清流の国推進部地域スポーツ課		
係 名	地域スポーツ係	内線	2953

ミナレク運動の推進

1 事業費 36,101 (前年度 12,493)

【財源内訳】

一般財源 36,101

【主な使途】

委託料 18,544

負担金 16,625

2 背景・事業目的

「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」の成果を未来に継承・発展させるため、県民皆が1つはレクリエーションを実践することで、体・心・頭の健康を増進させ、健康長寿につなげる「ミナレク運動」を更に推進し、明るく健康で、笑顔あふれる岐阜県づくりの実現を目指す。

3 事業概要

新 (1) 岐阜県「ミナレク運動」推進費 (22,000 千円)

岐阜メモリアルセンターをメイン会場とし、全県を舞台にレクリエーション種目大会等を実施する「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル (仮称)」を開催するとともに、レクリエーション推進団体の認定やミナモ体操・脳トレ体操を普及するなど、「ミナレク運動」を推進する。

(2) レクリエーションスポーツ推進事業 (14,101 千円)

就学前の幼児や高齢者に加え、障がい者やスポーツ実施率の低い就業者を対象としたレクリエーション講習会やセミナーを実施するとともに、地域住民にレクリエーションを普及するための指導者養成講習会を開催する。

(款) 2 総務費 (明細書事業名)	(項) 2 企画開発費 ○スポーツ振興費 地域スポーツ推進費	(目) (4) スポーツ振興対策費
-----------------------	--------------------------------------	-------------------

所 属	清流の国推進部地域スポーツ課		
係 名	スポーツ交流係、地域スポーツ係	内線	2948、2962

【新】ねんりんピック等スポーツイベントの開催準備

1 事業費 16,100 (前年度 0)

【財源内訳】

一般財源 16,100

【主な使途】

委託料 10,803

旅費 2,770

2 背景・事業目的

2020年（平成32年）に向けて取り組んできた大規模スポーツ大会の誘致において、国内初開催となる第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会（平成30年6月）、日本スポーツマスターズ（平成31年9月）及び第33回全国健康福祉祭（ねんりんピック）（平成32年度）の県内誘致に成功した。

これらの大会開催を契機に、岐阜を国内外へPRし、観戦・運営への県民参画の拡大を図ることにより、地域に元気があふれる「スポーツ立県・ぎふ」の実現を目指す。

3 事業概要

（1）全国健康福祉祭（ねんりんピック）開催準備等事業費（7,200千円）

全国健康福祉祭の開催に向け、大会基本方針や開催種目、会場地等を盛り込んだ基本構想の策定、大会テーマの募集を行うとともに、岐阜大会での参加者拡大に向けた競技団体の取組みを支援する。

（2）大規模スポーツイベント開催事業費（8,900千円）

アジアジュニア陸上競技選手権大会の運営ボランティアを養成するとともに、住民参加型のおもてなし事業や交流事業を関係団体と企画する。

また、日本スポーツマスターズの開催に向けた関係競技団体等との調整を進める。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (4) スポーツ振興対策費
(明細書事業名)	○スポーツ振興費	
	地域スポーツ推進費	
	スポーツ交流推進費	